

## ◇第31回ブロック部会の概要

第31回は、ブロック部会のあり方と十条のまちづくりについて話し合いました。

### 【ブロック部会のあり方について】

参加者から『ブロックのエリアはどのようにして決められたのか』、『埼京線の立体化や側道整備について住民が一堂に会して意見交換するのが有効と考えるが、現在のブロックのエリアであると、それができない。ブロックのエリアの再編を求める』といった意見があり、これに対して部会長は『ブロックのエリアは、平成17年に十条地区まちづくり全体協議会が発足した際に、住民が主体となって決めました。』と回答され、区は『再編については、関係する部会長と相談し、十条地区まちづくり全体協議会の幹事会で、規約を勘案しつつ、検討させていただきます。』と回答しました。また、『ブロック部に東京都が参加するよう、区から伝えてもらいたいと言っているが、いまだに実現していない、部会長から直接、東京都に参加について伝えてもらいたい』といった意見があり、これに対して部会長は『北区から連絡先を聞き、私から連絡します。』と回答されました。

### 【十条のまちづくりについて】

参加者から『埼京線の立体化とその側道整備に加え、補助85号線（バス通り）の整備が明らかになったが、区は一体何を優先してまちづくりを進めようとしているのか』という意見があり、これに対して区は『鉄道立体化を中心に据えています。大震災のことを考えると、木造住宅密集地域の改善だけでなく、補助83号線など骨格的な安全安心なまちづくりを進めていかなければならないと考えています。優先に差はなくいずれの事業や計画も重要です。』と回答しました。また『考え方よりどころとなる十条地区まちづくり基本構想については、平成27年と28年度にかけて修正を行います。』と回答しました。

また、『補助85号線沿道のまちづくりには、他の地区でみられたような積極的なまちづくりがないか』という意見があり、これに対して区は『現在補助83号線で取り組んでいる都市防災不燃化促進事業を考えていますが、補助85号線が事業化されてからの導入となります。』と回答しました。

## 【密集事業(住宅市街地総合整備事業)の事業期間を、平成32年度まで延長します!】

平成18年度～平成27年度までの事業期間としている住宅市街地総合整備事業(密集事業)について、事業期間延長の手続きを進めています。延長は5年間(平成32年度まで)を予定しています。今後とも事業へのご理解、ご協力のほど宜しくお願いいたします。



### 問い合わせ先

事務局：北区役所 十条・王子まちづくり推進担当部 十条まちづくり担当課  
 北区王子本町1-15-22 電話：03-3908-9162 (直通)

## 十条地区まちづくり全体協議会

# 駅東ブロック まちづくりニュース

2016  
第3号

平成28年(2016年)3月発行

発行/北区十条・王子まちづくり推進担当部十条まちづくり担当課

このニュースは、十条地区まちづくり全体協議会駅東ブロック

(上十条一丁目)にお住いの皆さまに配布しています。

## ～ 駅東ブロック部会の活動報告 ～

平成27年度は、JR埼京線の立体交差化と側道計画が駅東に及ぼす影響を踏まえ、駅東の交通環境や住まい環境のあり方、バス通りである補助85号線沿道のまちづくりなどについて話し合いました。

また、密集事業に伴う公園整備に向けたワークショップが別途開催され、公園の設計案ができました。

平成28年度は、参加者の意向を踏まえ、引き続きJR埼京線の鉄道立体交差化計画などを踏まえた十条駅付近沿線のまちづくりなどについて話し合いをしていきます。

### ◇第29回ブロック部会 (H27.10.22)

#### 【議題】

1. JR埼京線沿線のまちづくりについて

#### 【報告】

1. 十条地区のまちづくりの進捗状況について
2. 密集事業の進捗状況について

### ◇第30回ブロック部会 (H27.12.8)

#### 【議題】

1. 駅東ブロック(上十条一丁目)のまちづくりについて

### ◇第31回ブロック部会 (H28.3.17)

#### 【議題】

1. 駅東ブロック(上十条一丁目)のまちづくりについて

#### 【報告】

1. 「十条地区まちづくり基本構想」の修正について
2. 密集事業の進捗状況、事業期間の延長について
3. その他(「補助85号線都市計画変更素案説明会の概要」)



第31回ブロック部会の様子

「十条地区まちづくり基本構想」  
の修正について

■平成27年度  
修正作業



平成24年3月改定の「十条地区  
まちづくり基本構想」について、  
平成27・28年度で修正を行います。

■平成28年度  
修正作業と修正版の完成

このまちづくりニュースは、平成27年度に行われた駅東ブロック部会の活動内容について掲載しています。平成27年度のブロック部会に参加できなかった方も、平成28年度は、ぜひご参加ください。

## ◇第29回ブロック部会の概要

第29回は、主に鉄道立体化と密集市街地の改善について話し合いました。

### 【鉄道立体化について】

参加者から『埼京線の立体交差化に関する構造形式の比較はどう検討されたのか』、『都市計画素案説明会では、地下化と高架化では予算面で高架化が良いということだったが、高架化だと何世帯に影響があるのかと聞いたら、まだ調べていないという回答だった。どれだけの人を立ち退かせるかが分からないのでは、納得できない』といった意見がありました。

これに対して区は、『都の説明では、高架化の場合は事業費が約340億円、地下化の場合はそのほぼ倍ということでした。しかし構造形式の決定は事業費だけでなく、周辺の地形条件、除却する踏切の数などの計画的条件、各構造形式の事業費・事業期間などの事業的条件という3条件による総合的な判断の結果であると聞いています。ご意見は都に伝えます。』と回答しました。

続けて区は『都市計画素案における構造形式は都が決定し、区はその結果を尊重する方針です。高架方式による影響は、今後検討します。また、都市計画の手続き上はこれからなので、決定はしていません。』と回答しました。

### 【密集市街地の改善について】

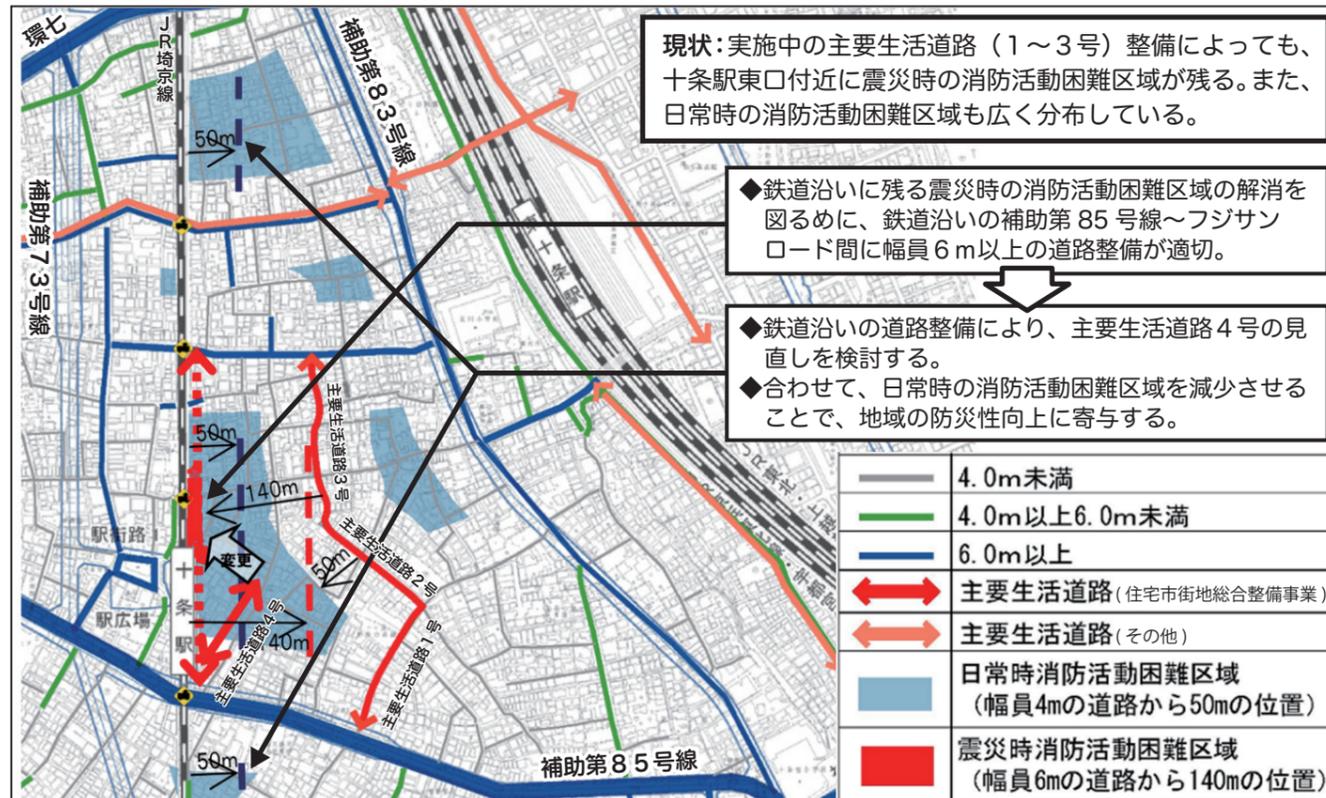
「十条駅付近沿線まちづくり基本計画」について区が説明したところ、参加者から『消防活動困難区域の解消のため、なぜ6mの道路が必要か。避難場所に通じる道ということであれば分かるが、この道路はそうではない。』という意見がありました。

これに対して区は、『十条地区周辺の避難場所は清水坂公園と東京家政大学・中央公園一帯があり、補助83号線と補助73号線が有効な避難路となりますが、この間にもう1本道路があるとより効果的です。』と回答しました。

また『東口広場を実現させるためには買収が必要で、移転を余儀なくされる方が大勢出て、北区を離れざるを得なくなってしまう。代替地を用意するとか、コミュニティを壊さないような方策をたてるとか、そうしたことはどのように考えているのか。』という意見がありました。

これに対して区は、『広場整備にあたり移転を余儀なくされる方に対しては、区としてもできる限り代替地を確保したいと考えています。ただし、今はその段階ではなく、今後の検討課題です』と回答しました。

### 【十条駅付近の消防活動困難区域】



出典：十条駅付近沿線まちづくり基本計画（平成27年1月策定）

## ◇第30回ブロック部会の概要

第30回は、主にブロック部会のあり方と今後のまちづくりについて話し合いました。

### 【ブロック部会のあり方について】

参加者から『ブロック部会で出た意見は、今後どう反映されるのか』という意見がありました。これに対して区は、『この協議会をもって何か議決をはかり方向性を定めるというものではありません』と回答しました。

また参加者から『埼京線の高架化という十条の良さを崩してしまうような事業が本当によいのか。住んでいる人の事情を踏まえて進めてもらいたいし、こうしたことについて、ブロック部会で議論していくのがよい』という意見がありました。これに対して区は、『今後のブロック部会の進行にあたっての参考とさせていただきます』と回答しました。

### 【今後のまちづくりについて】

参加者から『まちづくりは生き物で、10年も経つとまちは変わる。個々の住宅でも不燃化、セットバックが進んでいる。柔軟な対応で議論を進めていただきたい。』『セットバック後、増築している家がある。そういう中で道路が狭いと議論をするのは、矛盾があり、行政側が適切に指導すべきだ』、『十条駅の東側はすぐ住宅街であるため、この特徴を活かしたまちづくりを進めるのがよい』といった意見がありました。

これに対して区は、『色々な意見が出されましたが、これらは次回の議論の題材にしたいと思います。』と回答しました。

### 【公園整備に関するワークショップを行いました！】

地区の防災性向上を目的に、オープンスペース確保の取り組みとして、公園用地の取得を進めています。これまでに、上十条一丁目地区で約440㎡の用地を取得しています。

平成27年11月～平成28年2月の間で計4回、公園整備のためのワークショップを開催しました。

ワークショップでのご意見等を基本方針として、今後基本設計を行い、来年度から地中埋設物調査や実施設計（詳細設計）等を行います。今後も、町会や近隣の方へのお知らせ・相談をしながら進めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

平成27年11月14日  
■第1回ワークショップ  
・計画地の現況確認と把握

平成27年12月12日  
■第2回ワークショップ  
・整備テーマを決め、整備計画案を発表

平成28年1月23日  
■第3回ワークショップ  
・現地確認、グループプランの発表・統合  
・ワークショッププラン案の作成

平成28年2月13日  
■第4回ワークショップ  
・ワークショッププランの確認と決定  
・公園の名称・使用ルールについて意見交換

